

平成 20 年 9 月 4 日
国土交通省中部地方整備局
独立行政法人水資源機構中部支社

お 知 ら せ

1. 件 名

横山・徳山ダム連携による初めての洪水調節を行いました。(速報)

2. 概要

平成 20 年 9 月 2 日から 3 日にかけて、岐阜県西濃地域は激しい降雨に見舞われ、徳山ダム(河口から約 90 k m)では、最大毎秒約 7 4 0 m³の流入量全量を貯留しました。また、横山ダム(河口から約 80 k m)では、最大毎秒約 6 9 0 m³の流入量があり、このうち毎秒約 4 0 0 m³を貯留し、毎秒約 2 9 0 m³を放流しました。

この洪水調節により、徳山ダムがなかった場合の操作に比べ、揖斐川の水
位低下効果は、大垣市万石地点(河口から 40.6k)で約 1.2 m、養老町
今尾地点(河口から約 27.0k)で約 0.7 mと試算されました。

また、徳山ダムの完成による揖斐川本川と流入支川の水位低下、支川牧田川、杭瀬川の河道拡幅工事に併せ、支川大谷川の洗堰を 1.05 mかさ上げしており、今回の出水では、越流水位(TP 8.85 m)に迫る TP 8.47 mまで水位上昇したものの越流は回避でき、浸水被害は発生しませんでした。(岐阜県河川課が 9 月 4 日別途記者発表)

3. 資料

別紙のとおり

4. 解禁

指定なし

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ
岐阜県政記者クラブ
桑名市政記者クラブ

6. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局	河川環境課長	笹森 伸博
	建設専門官	森 隆好
	電話	0 5 2 - 9 5 3 - 8 1 5 1
独立行政法人水資源機構	徳山ダム管理所	
	管理課長	曾田 英揮
	電話	0 5 8 5 - 5 2 - 2 9 1 0

◆徳山ダム・横山ダム連携による効果

